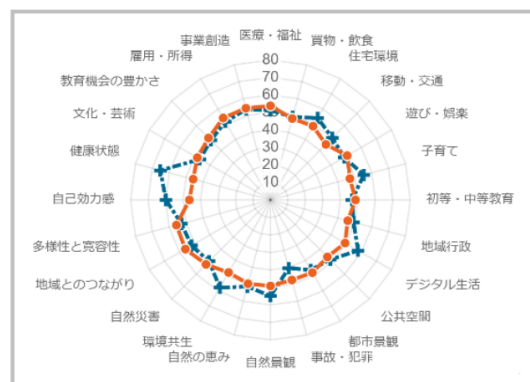


- デジタル庁は、「デジタル田園都市国家構想実現に向けた地域幸福度 (Well-Being) 指標の活用促進に関する検討会」の開催等を通じ、地方公共団体における地域幸福度 (Well-Being) 指標の活用を推進しています。
- 地域幸福度(Well-Being)指標とは、客観指標と主観指標のデータをバランスよく活用し、市民の「暮らしやすさ」と「幸福感 (Well-being)」を指標で数値化・可視化したものです。
- ・ 地域幸福度(Well-Being)指標では、世界的に認知された「ウェルビーイング (Well-being)」と「健康の社会的決定要因 (Social Determinants of Health)」の2つを基本概念としている。

概念	定義の一例
ウェルビーイング (Well-being)	身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること
健康の社会的決定要因 (Social Determinants of Health)	個人または集団の健康状態に違いをもたらす経済的、社会的状況のこと

- ・ 地域幸福度(Well-Being)指標は、**地域における幸福度・生活満足度を計る4つの設問と、3つの因子群(“生活環境”、“地域の人間関係”、“自分らしい生き方”)**から構成され、**因子群は合計24のカテゴリーに細分化**されます。
- ・ **24のカテゴリー毎に、主観指標はアンケート設問、客観指標はKPIが設定**されています。



橙色の線 = 主観評価、青色の線 = 客観評価

カテゴリー名称		
生活環境(16)		地域の人間関係(2)
医療・福祉	公共空間	地域とのつながり
買物・飲食	都市景観	多様性と寛容性
住宅環境	自然景観	自分らしい生き方(6)
移動・交通	自然の恵み	自己効力感
遊び・娯楽	環境共生	健康状態
子育て	自然災害	文化・芸術
初等・中等教育	自己・犯罪	教育機会の豊かさ
地域行政		雇用・所得
デジタル生活		事業創造